

「心得」

私はこの度、東日本旅客鉄道株式会社を受験し、内定をいただくことができました。幼いころからローカル線や乗って楽しい列車を利用していましたが、会社として意識したのはほんの最近のことです。1年次で過去の求人を見つけ、2年次で先輩の合格体験記を読むまでは鉄道業界を目指していませんでした。ここでは、私が明確に鉄道業界を目指してから行った対策と流れを紹介します。大きく3点、情報収集と自己分析と学びの姿勢です。

最初に一番伝えたいのは特殊な業界です。加えて大企業ですので、そこら中に情報があります。自分から企業の情報に積極的に行ってください。特に首都圏は私鉄も多いので、「JRの理由」を見つけてください。面接で絶対聞かれます。夏休みに鉄道の見学会に行きがてら積極的に首都圏の私鉄を乗り回し、会社の違いを肌で感じてきました。さらに公式YouTubeやホームページを繰り返し閲覧し、内容を頭に入れました。そこから考えたことを面接時に自己アピールと絡めて話すなど心の隅にあるだけでも自信が違ってくると思います。ちなみに、二年生の冬から見始めました。余談ですが鉄ヲタの友達がいると面白いです。

次に自分の性格を把握しましょう。幸いなことに、ズバツと言ってくれる友達がいたため、自分の性格を考える機会が多くありました。二年生の後半から月に一度盛岡で行われる立志舎のセミナーに参加し、鉄道業界対策を始めました。SPI、NR式知能検査、クレペリン、医学適性検査、作文、グループディスカッションが主な内容です。興味があれば先生に頼んで私の受験報告書を見てください。6月に仙台校に行き、クレペリンと矢田部ギルフォールド性格検査をしました。交通費全額支給、専門機関に無料で出してくれるいい機会です。結果から自分の集中力や注意力、性格を確かめて志望動機と面接時の言葉に確実性を持たせていきました。

そして、親身に支えてくださる担任の先生と進路指導の先生、専門教科の先生方の話しをよく聞き、小さいことでも報連相です。信頼関係が築けるとともにたくさんの大人のアドバイスを頂けます。就職希望の私にとって、一番近く一番信頼があり一番頼れる社会人の先輩は先生方でした。愛される新卒の姿勢や高校生らしさ、大人の気の配り方を吸収しましょう。作文は自分の言葉で、筆記は繰り返し練習、面接は会話です。熱意を伝えるべし。志望動機が自分で考えられないなら、鉄道業界に進まない方が良いと思います。今ある能力の活かし方と、今後どう成長して会社に貢献するかを頑張ってみてください。

最後になりましたが、面接指導をしてくださった先生方と切磋琢磨した友人たちに感謝を伝えたいです。ありがとうございました。これから進路を決める皆さんのヒントになればいいなと思います。ご精読ありがとうございました。

「Never give up!」

私はこの度、岩手県立大学のソフトウェア情報学部に合格することができました。

私は1年生の頃から大学への進学を希望していましたが、情報分野の仕事をしていきたいことや、この地域がいいということなど具体的なことは決まっていませんでした。そこで、先輩に聞いたり、インターネットで調べて情報系の大学として岩手県立大学に進学しようと決めました。私はまず、総合型選抜に挑戦しました。面接が苦手だったので、面接が重要視される総合型選抜ではきついだらうと思い、はじめはやる気も起きませんでした。そのため勉強時間も不足し、対策が遅くなり結果的にそれからが大変でした。

総合型選抜では一次選考と二次選考があり、一次選考では書類審査、二次選考では面接があります。私が一次選考の書類づくりを本格的に取り組んだのは、夏休みが終わってからです。私は自己推薦書を書く上で、今までのさまざまな検定に合格してきたので書くのには資格を書くのには困りませんでした。国家資格であり、情報の中でも評価が高いITパスポートをとっていなかったため、だいぶ自信を無くしました。また、志望理由を書く上で具体的に将来やりたいことなどが決まっておらず、今までの取り組みや将来に向けての具体的なアイデアを考えるのが難しかったので、余裕があるうちに情報に関するさまざまなことに独自に取り組むことや、自分はこういうことをしていきたいと具体的に考えておいた方がいいです。総合型選抜では、「具体性」や評定も意識されると思うので重要視されるポイントを意識して効率的に受験対策をした方がいいです。二次選考では、口頭試問と面接があります。私は、健康管理が甘く受験の前の週で面接練習などの対策がほとんどできず、不合格になってしまいました。口頭試問は初めてだったのでどんな感じになるのか不安でしたが、本番ではだいぶ良い感じに話すことができました。面接では、必ず出る自己PRや志望理由を要約して話すところで緊張から焦ってしまい、あまりうまくできませんでした。志望理由の考えと、練習の成果がはっきりと表れると思うので、慣れるまでだいぶ練習をしておくとしは落ち着いて対処できると思います。

学校推薦型選抜では、国、数、英の3教科の試験と面接がありました。特に数学が重視されるので、勉強をしっかりと5問中4問はとれるくらいにはしておいた方がいいと思います。面接は総合型選抜ほどではないですが、油断せず取り組み志望理由はもちろん、その他もある程度答えられるよう準備すれば良いと思います。総合型選抜とは違いははっきりと点数がつくので諦めず頑張ってください！受験は「準備」と「気持ち」が大切です。どんな状況でも諦めずやれば合格に近づくとおもいます。後悔のしないよう頑張ってください！応援しています！